

# 水俣の奇病

# 被病者に融資の手

## 魚族保護に「魚のアパート」

水俣奇病の被病者に  
対しては本年三月水  
俣市議会に奇病対策  
委員会が設置されて  
いらい、同市で被病

者十七世帯、八十九人に対し生活  
保護法を適用するとともに七月に  
は全被病家庭に九万四千円の見舞  
金を贈り、また熊大に入院してい  
る九人の患者には法外援護費とし  
年額二十六万円を決定するなどよ  
うやく援護の手が差しのべられる  
ようになった。しかし更生のため  
の資金融資などの措置が一向に進  
展しなかつたところ今月はじめ県  
と水俣市で話合つた結果、

①更生資金貸出し希望十四世帯  
に対して総額六十八万円を融資  
する。(うち県負担 十二万六  
千円、残額国庫) ②医療保護  
在宅患者には結核患者同様最高  
月額七百二十五円を支給するよ  
う県から厚生省に陳情する。ま  
た患者に対しては身体障害者と  
して月額九百円を支給する。③  
熊大付属病院入院患者のうち医

療保護をうけている九人は明年  
四月から学用患者として取扱つ  
てもらふようにする。

などの援護対策が決つた。  
これとともにこのほど県水産課で  
は二百五十五万六千円で同市茂  
道、双子島、勝崎ヶ鼻の三カ所に  
魚族保護のための魚のアパートと  
して一戸四方大の鉄筋ブロック六  
集団(一集団は百四個)を決めて  
築礎をつくることを決定、現在ブ  
ロック造りが行われている。袋湾  
は一昨年まではホフ一本釣りの漁  
場としてまた稚アユの産地として  
有名だつただけに入会漁業の希望  
もなく特定の漁場もなく八方塞が  
りだつた漁民にとつて、明年夏に  
は新しいホフ、ユダイの一本釣り  
漁場が出来るわけで大きな期待が  
もたれている。なお同市漁協が二  
百八十二人の組合員たちと五百万

円を金策して準備した十一統の夕  
イコ子網の使用許可について県の  
親心がのまれている。

このように水俣奇病が全国的な  
話題になつてから二年、遅れば  
せながら被病者とその家族に対  
する援護措置がとられはじめた  
ことは暗いかげに覆われた奇病  
部落に細々ながらも明るい光を  
もたらしている。